

診療技術部門  
放射線科の  
新人教育について  
(新人教育プログラム)  
2020年版



公益財団法人

筑波メディカルセンター

TSUKUBA Medical Center Foundation

# 目次

- ・新人教育にあたって  
法人診療技術部門長 挨拶
- ・組織図
- ・法人教育・研修委員会主催新人オリエンテーション内容(2020年度実績)
- ・各科(課)のプログラム
  - 放射線技術科-----P.4

## 新人教育にあたって

### 法人診療技術部門長の挨拶

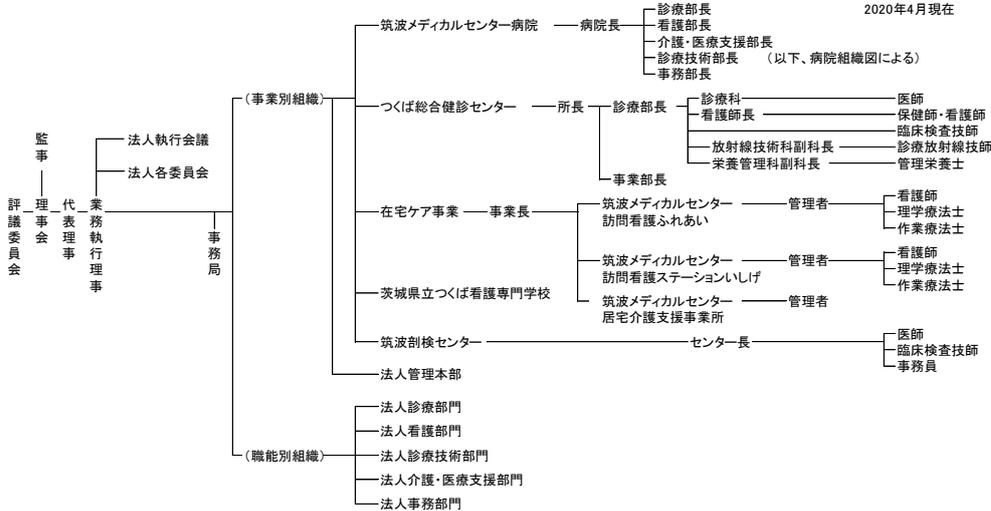
この度はご入職いただき、ありがとうございます。心から歓迎いたします。

さて、みなさんは国家資格を保有した専門職ですが、まだスタートラインに立ったに過ぎません。これからいろいろな経験や学習をし、一人前の医療者になっていかれますが、きちんとやっていけるのか不安だと思います。でも安心してください。新入職員を育てるのは我々の責務です。そこで、誰もが同じように成長できるよう、教育プログラムを作成しました。我々はこの教育プログラムに沿って精一杯指導をし、みなさんの成長の手助けをしますので、それにお応えいただき、より多くのことを習得いただければ幸いです。

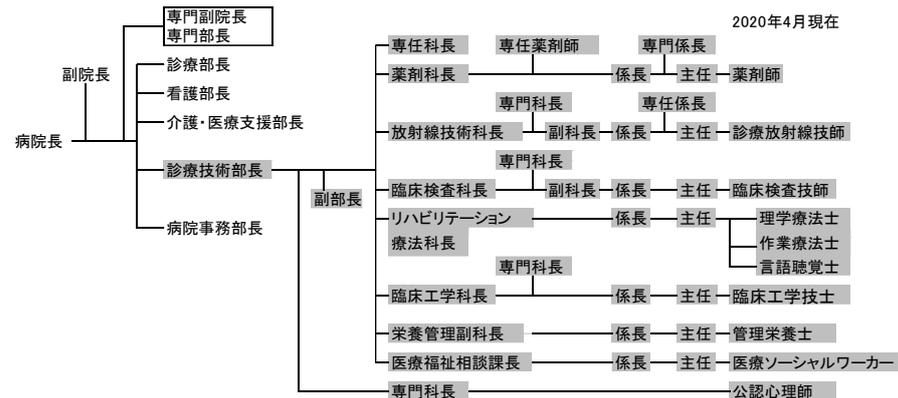
法人診療技術部門長 飯村 秀樹

# 組織図

## 公益財団法人筑波メディカルセンター組織図



## 筑波メディカルセンター病院組織図



## 法人教育・研修委員会主催新人オリエンテーション内容(2020年度実績)

研修期間 7日間

研修内容

- 1日目 公益財団法人紹介、各事業部署紹介、各部門紹介、臨床研修医制度紹介
- 2日目 避難訓練、BLS/AED、健康診断、部門間体験
- 3日目・4日目 外部講師講義(フレッシュパーソン研修)
- 5日目 接遇・マナー研修、BLS/AED、健康診断、部門間体験
- 6日目 労働安全衛生管理講義、個人情報保護講義、ハラスメント研修、医療制度講義  
チーム医療講義、勤怠管理システム操作説明
- 7日目 医療安全・感染管理講義、ストレスマネジメント研修、人事評価制度説明  
福利厚生説明

# 放射線技術科

## 1、概要(オリエンテーション)

・放射線技術科教育プログラムは 3 段階の課程を設定しており地域で活躍できる診療放射線技師の育成を目的に行っている。

第 1 課程として新人育成(延長業務、当直業務に入ることを目的とし育成を行う)、第 2 課程(5 年程度)として診療放射線技師業務(一般撮影検査、CT 検査、MR 検査、消化管検査、血管撮影検査、US 検査、核医学、放射線治療等)8 割以上の習得、第 3 課程(10 年程度)として各専門分野技術の習熟(講演、シンポジウム等を行える)と設定している。

ここでは第 1 課程の新人教育育成プログラムを示す。

## 2、教育項目

第 1 課程:1 年程度(下記を目安とする)

- ・ 一般撮影検査:2 ヶ月+4 月の 2 週間
- ・ CT 検査 :3 ヶ月
- ・ 血管造影検査:1~2 ヶ月
- ・ MR 検査 :3 ヶ月

## 3、習得目標期間、タイムスケジュール

### 【一般撮影検査】

#### 1.目的達成のために必要な習得項目一覧

- a) 病院情報システム(HIS)、放射線科情報システム(RIS)、医療用画像管理システム(PACS)の操作を習得する
- b) 科内の接遇、感染対策について学習する
- c) 科内の緊急時の対応について学習する
- d) 院外画像を含めた画像管理について学習する
- e) ポータブル撮影ができる
- f) 単純撮影ができる
- g) 種々透視検査・治療に携わる

#### 2.習得期間

- a) 入職オリエンテーション終了後の 2 週間程度+2 ヶ月間

## 【CT 検査】

### 1. 目的達成のために必要な習得項目一覧

- a) 装置の取り扱い、ウォームアップの必要性を理解する
- b) ダイナミック撮影など、撮影技術の習得、症例に応じた撮影法を理解する
- c) ワークステーションを使用した 3D・MPR・MIP など画像作成をできるようにする
- d) 造影剤問診表の内容と必要性を理解する
- e) 造影検査時の医師、看護師との検査体制を理解する
- f) 造影剤の禁忌について理解する
- g) 造影剤使用による副作用発生時の対応を理解する
- h) 造影剤注入禁止の医療機器(CV カテーテル等)に関して理解する

### 2. 習得期間

- a) 習得期間は 3 か月とする。延長業務は 3 か月未満でも実施可能とする
- b) チェックリストに沿って実施、実践する。習得度は随時確認する
- c) 月末に新人と評価者が面談を行い、教育状態について確認する。2 ヶ月終了時に監督役の下、日勤業務を単独で行い最終チェックを行う。不足がある場合弱点補強を行い、再チェックを行う

## 【血管撮影検査】

### 1. 目的達成のために必要な習得項目一覧

- a) 装置の基本的操作ができる
- b) 心臓カテーテル、PCI に従事できる
- c) インジェクターの設定ができる
- d) 頭部 DSA の検査に従事できる

### 2. 習得期間

- a) 心臓カテーテル、PCI 関連の検査習得に1ヶ月
- b) 頭部(体幹部)DSA の検査習得に1ヶ月

## 【MR 検査】

### 1. 目的達成のために必要な習得項目一覧

#### a) 基本撮像

- (ア) 頭部/脊椎/MRCP の撮像および画像処理が行える
- (イ) MR 対応ペースメーカー挿入患者の撮像および画像処理が行える

#### b) 症例に関する知識と追加撮像

- (ア) 頭部/脊椎疾患における画像所見を理解し、状況に応じて追加撮像を行うことができる

#### c) 安全管理、その他

- (ア) 安全に検査を行う上で必要な知識を有し、正しい手順で実行できる
- (イ) 撮像における危険性について熟知し、その発生を防ぐことができる
- (ウ) 患者に対し、検査全般について十分な説明を行うことができる
- (エ) 撮像中における患者状態の確認方法を理解し、十分な安全管理体制を敷ける
- (オ) 緊急時に正しい対応ができる

### 2. 習得期間

- a) 研修期間は安全管理 1 ヶ月、撮像 2 ヶ月、計 3 ヶ月とする
- b) 進行状況により研修期間の短縮、延長あり

## 4. 研修プラン

- ・単純グループミーティング 1 回/月
- ・CT 安全 2~3 回/年
- ・イブニングカンファレンス(QQ 症例検討会) 1 回/月
- ・イメージング検討会(MR) 1 回/月
- ・MR 安全 2~3 回/年
- ・オートプシーイメージング検討会 1 回/月                      など

## 5. 認定資格

- ・救急撮影認定技師
- ・X 線 CT 専門技師
- ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
- ・磁気共鳴(MR) 専門技術者
- ・超音波検査士(腹部領域・表在領域)
- ・検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- ・放射線治療専門放射線技師
- ・核医学専門技師
- ・オートプシー・イメージング(Ai) 認定診療放射線技師                      など

作成日 : 2020年8月

作成 : 診療技術部教育委員会

編集担当者 : 池田・石黒・糸賀・江口・中川・村田